

ヤマザキ動物看護大学 動物人間関係学科カリキュラムツリー【令和3年度入学生】

【建学の精神】「生命への畏敬」「職業人としての自立」 【教育理念】「生命（いのち）を生きる」

【養成する人材像】

動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と生命を尊重する倫理観を身につけ、

ア ペット関連企業（ペットフード・ペット用品、ペットショップ等）で活躍できる人材

イ 公衆衛生の知識・技術をもって、多様化した人と動物の共生社会で活躍できる人材

ウ 社会福祉・心理学の素養をもって、アニマルアシステッドセラピー（動物介在療法・動物介在活動・動物介在教育）、アシスタンスドッグ（盲導犬・聴導犬・介助犬）等の分野で活躍できる人材

【教育研究上の理念及び目的】

本学科は、本学園の建学の精神に則り、「生命（いのち）を生きる」を教育理念に生命を尊重する倫理観及び動物愛護の精神を備え、人と動物の共生社会に求められる豊かな人間性と幅広い視野を持つ人間教育を行う。人と動物の共生社会構築に貢献、ペット関連企業等の発展及びアニマルアシステッドセラピー（動物介在療法・動物介在活動・動物介在教育）、アシスタンスドッグ（盲導犬・聴導犬・介助犬）等の普及に貢献するための研究及び理論・技術を教授することを目的とする。

アドミッションポリシー (AP)	カリキュラムポリシー (CP)	教育課程				ディプロマポリシー (DP)	想定される進路・就職先
		1年次	2年次	3年次	4年次		
<p>ア 本学の建学の精神及び教育理念に共感する者。</p>	<p>ア 教養教育科目では、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と倫理観を身につけ、豊かな人間性と幅広い視野を養うために、人文社会系、自然科学系、言語と情報系等の科目を配置し、専門教育科目に繋げる。</p>	<p>教養教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 哲学 生活と法律 生活と経済 基礎生物学 基礎化学 基礎生化学 	<ul style="list-style-type: none"> 英語Ⅰ 英語Ⅱ フランス語入門 情報リテラシー（基礎） 情報リテラシー（応用） 動物とジャーナリズム 	<ul style="list-style-type: none"> 生命倫理学 美術史 心理学 キャリアマネジメント 環境科学 		<p>ア 本学の建学の精神及び教育理念を理解し、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と倫理観を備え、豊かな人間性と幅広い視野を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペット関連企業（ペットショップ、ペットフード・ペット用品等） 動物飼育施設（畜産酪農関係等） その他のリゾート 出版社 動物病院 動物関連団体等
<p>イ 動物に深い理解と愛情を持ち、人と動物の豊かな共生を目指す者。</p>	<p>イ 専門基礎科目では、動物人間関係学に必要なとされる生命科学概論、動物看護学概論、動物人間関係学概論、動物形態機能学等の基礎的理論・技術を学修し専門科目への導入と位置づける。</p>	<p>専門基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物看護学概論 動物人間関係学概論 動物形態機能学 動物生理学 動物遺伝学 	<ul style="list-style-type: none"> 生命科学概論 動物形態機能学実習 動物生態学 動物行動学 動物薬理学 動物病理学 	<ul style="list-style-type: none"> バイオテクノロジー 動物繁殖学 	<p>イ 動物人間関係学に関する基礎的理論・技術を修得している。</p>		
<p>ウ 動物人間関係学に興味を持ち教育研究に必要な基礎学力を有する者。</p>	<p>ウ 専門科目では、多様化し、拡大化したペット関連産業等に対応して、ヒトと動物の関係学、公衆衛生学、有害動物学、動物園・水族館論、ペット関連産業論、アニマルアシステッドセラピー論、アシスタンスドッグ論等の特色ある科目を配置し、専門職としての応用的理論・技術及び問題解決力を学修する。</p>	<p>専門教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物臨床看護学（基礎） 動物臨床看護学（基礎）実習 動物飼育管理論 コンパニオンアニマルケア（グルーミング）論 コンパニオンアニマルケア（グルーミング基礎）実習 動物愛護・福祉と関連法規 動物とアート 	<ul style="list-style-type: none"> 動物臨床看護学（内科） 動物臨床看護学（内科）実習 動物飼育管理実習 動物臨床検査学 動物臨床検査学実習 公衆衛生学 寄生虫学 小動物栄養学 ヒトと動物の関係学 コンパニオンアニマルケア（グルーミング応用）実習 野生動物学 	<ul style="list-style-type: none"> 動物臨床看護学（外科） 動物臨床看護学（外科）実習 ヒトと動物の共通感染症 社会福祉 臨床心理学 コミュニケーション論 アニマルアシステッドセラピー論 アニマルアシステッドセラピー実習 アシスタンスドッグ論 伴侶動物資源・育種学 伴侶動物行動演習 コンパニオンドッグトレーニング論 イヌ・ネコの特性論 エキゾチックアニマル特性論 コンパニオンバード特性論 ジェロントロジーとドッグウォーキング 産業動物学 実験動物学 動物文化人類学 水族動物学 動物園・水族館論 有害動物学 サイエンスイングリッシュ 	<ul style="list-style-type: none"> ベットのロス論 コンパニオンドッグトレーニング実習 医療安全 動物災害・危機管理 ペット関連産業論 ペットビジネス起業論 消費者行動分析学 情報危機管理論 	<p>ウ 多様化し、拡大化したペット関連産業において必要とされる応用的理論・技術及び問題解決力を修得している。</p>	
<p>エ 社会の一員として国際的な視野に立ち、コミュニケーションを大切に、自ら学び、解決策を見出すための努力ができる者。</p>	<p>エ 総合科目では、研修・ボランティア活動、アッセンブリーアワー（自校教育・キャリア教育）、インターンシップ、卒業論文等の科目を通して社会性を養い、人間形成及び社会人としての基礎力・指導力を構築する</p>	<p>総合科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修・ボランティア活動 アッセンブリーアワーⅠ 	<ul style="list-style-type: none"> 動物実習短期留学 統計学 	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ アカデミックスキルズ 	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護学総合演習 卒業論文 アッセンブリーアワーⅡ 	<p>エ コミュニケーション能力と社会性を身につけ、専門職、指導者として、使命感を持ち、国際社会に貢献する人材としての能力を身につけている。</p>	

【教養教育科目】

■

【専門教育科目】

■ 専門基礎科目

■ 専門科目

■ 総合科目